

創造

JA いけだ
CREATION

今月の表紙写真は、2月27日の青年部通常総会の役員改選で選出された新役員です。前列左より樋口会計、永原副部長、山内部長、中村副部長、市川書記長。後列左より村中監事、十河支部長、多田支部長、林支部長、中西監事。



CONTENTS

- * 総会特集
- * 北海道フェア
- * 21NEWS アラカルト
- * 特集 報徳研修会～その1～
- * 平成25年度 5 S 活動報告
- * 金融共済課より
- * 畜産部通信
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2014.

4
APRIL

No.052

総会特集

平成26年度 各生産組合・部会及び各外郭団体代表者名

農産部関係

- 玉ねぎ部会
部会長 小原 秀樹
- 花卉生産組合
組合長 石沢 裕
- ごぼう部会
部会長 前田 真二
- もち米生産組合
組合長 堀井 浩明
- ゆり根部会
部会長 窪田 満穂^新
- アスパラ部会
部会長 野上 正英
- 採種圃生産組合
組合長 神谷 輝俊^新
- 南瓜部会
部会長 島田 伸一
- 食用馬鈴薯生産組合
組合長 野澤 敬裕
- ヤークン部会
部会長 村中 善一郎
- ネバリストー部会
部会長 胡澤 達也
- にんにく部会
部会長 守内 薫^新

畜産部関係

- 肉牛生産組合
組合長 納 登美男^新
- 和牛生産組合
組合長 宮前 裕治
- あか牛部会
部会長 神谷 雅之
- 黒牛部会
部会長 宮前 裕治
- 酪農振興会
会長 川本 一見^新

外郭団体

- 農協友の会
会長 丹羽 正彦
- 青年部
部長 山内 拓也^新
- 年金友の会
会長 神谷 充雄
- 女性部
部長 中西 邦江
- 「はぐへの会」
会長 金川 妙子
- ポランティアサークル
会長 神森 悦子^新
- こだま会
会長 佐藤 米子^新
- もぎたて部会
会長 神森 悦子^新
- フレッシュユミス
会長 小澤 司
- 食品加工サークル
会長 原 静子^新
- 習字サークル
会長 塚谷 明美

2月上旬から3月下旬にわたり、当農協関連団体の定期総会及び全体会議が終了致しました。

関連団体は農産部関係が5生産組合と8部会、畜産部関係が2生産組合2部会1振興会と、青年部、女性部関係、農協友の会、年金友の会、ボランティアグループ「はこべの会」、もぎたて部会で、紙面の都合上、代表者のみ名前掲載させて頂きます。
(敬称略)



青年部長挨拶



部長

山内拓也(新)

この度、第25回通常総会におきまして部長に選任されました。

改めてこの大役の責任を感じながらも身を引き締めなおしまして役員、部員一丸となり、活動をより充実させていきたいと思っております。

まず今年度の青年部はこれまでの継続事業を引き継ぎ見直しつつ、我々の団結

はもちろんのこと、活動をより可視化させて精一杯取り組んでまいります。

近年の活動で定例化してきます親子体験型食育事業では、昨年度から給食センターへの寄付を通じて地域への密着や、参加される皆様とともに作業工程の楽しさや難しさ、食と農の大切さを学びながら、信頼され

女性部長挨拶



部長

中西邦江(再)

第25回通常総会も部員の皆様のご理解、ご協力により無事終了する事が出来ま

した。

ここ数年の異常気象、TPP問題、消費税の増税な

る池田の作物を発信していきたいと考えています。

日本全土で年々深刻化されています。後継者対策では、近年農業政策の不安定さをふまえてご家族の思いも様々とおはかりしますが、次代に繋ぐ農業継承という意味でも重要な対策として引き続き取り組みたいと思います。

独身部員一人ひとりと向き合い、自身にとって何が必要か、大切ななどを改めて意識していただき女性との交流会等に励んでいただきたいと思います。

また今年度は活動の幅を広げ、十勝管外での交流会開催も視野にいれながら十勝の農ど、様々な問題が私達を取り巻いており、将来に不安もありませんが、自分達に出来る事を精一杯努力する事で、経営の安定をはかり、家族の健康を守りながら明るく前向きに活動する事が大切な事のように思われます。

私達女性部は、本年度の活動として、交流会・道外研修旅行・講習会・冬期レク

業青年としてのアピールの場としても検討し取り組みたいと考えています。

各研修会ではより将来への営農意識を高めるべく、各種関係機関、または生産者の方々と連携しながら単組事業だけでなく、様々な活動に積極的に参加、取り組みしていきたいと思っております。

農業情勢といたしましては変わらず不透明なTPP交渉、減反政策における影響など様々で短兵急な政策転換に関係各所だけではなく青年部員も一農業者として対応していかなければいけません。

この度、全国農協青年部組織協議会会長にJAめむろか等を予定しています。「食品加工サークル」では、自家野菜・小麦粉(きたほなみ)を使った料理作りを仲間と楽しく活動しており、「習字サークル」も少人数ながら地道に活動を続けています。

前年と同じ三役と、新支部長さん達とで、活発で笑顔溢れる女性部活動をしていきたいと思っておりますので、皆様の積

ら北海道を代表して黒田栄継氏が選出されました。個人や組織単位では私達は非常に微力ですが、TPP問題も含め日本の農業のありかたを問われる中で国民との相互理解や多くの人のつながりを私たち青年部も大切にして十勝の声を届けていきたいと思っております。

最後になりますが、部員皆様のご参加ご協力あつての青年部活動です。営農第一はもちろんのこと、ご家族の皆様のご理解とご協力をそして農協・各関係機関皆様とともに、より密接なご指導ご協力をこの場からご僭越ながらよろしくお願い申し上げます。

極的な参加とご理解をお願い致します。女性部は年々部員数が減少しています。私達と一緒に楽しく活動してみませんか?お待ちしております。最後にになりましたが、農協はじめ各種関係機関の皆様のご指導・ご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

北海道フェア

京王ストア桜ヶ丘店で 池田町産農産物を店頭PR

女性職員2名も奮闘!! 取引先・消費地との強い繋がりを実感

3月12日～13日に、㈱ワタリ様と㈱ワタリ青果様にご協力いただき、東京・多摩市にある京王ストア桜ヶ丘店で池田町の根張星と玉ねぎ、馬鈴薯（メイクイン・男爵・ホッカイコガネ・インカのめざめ）のPR販売を行い、たくさんのお客様に来ていただくことができました。

根張星は、試食していただいた方のほとんどが「おいしい!」「甘い!」と言ってくださり、購入していただくことが出来ました。いつも食べているという方も多かったのですが、初めて根張星を食べるという方も多く、今までよりもさらに、池田町の根張星の魅力が広まったのではと思います。また、お客様が購入されるサイズも、以前はグラム売りの小さめのものが多かったのですが、フェア初日は、S規格の3本入が完売するなどの変化もみられました。

玉ねぎの試食では、ラップで玉ねぎを包み電子レンジで温め、鰹節と醤油で味付けするという簡単な調理法で「蒸し玉ねぎ」を用意し、試食されたお客様からは「甘くておいしい」の声や「試してみるね」といった声を頂き、たくさん購入していただくことができました。しかし、玉ねぎは普段からよく買われる方が多いため、なかなか試食をしてもらえず、試食販売の難しさを痛感いたしました。馬鈴薯は、㈱ワタリ様にそれぞれの特徴にあった調理方法をパネルとして作っていただき、お客様もそのパネルを見ながら、目的にあったものを選んでいました。メイクイン・ホッカイコガネ・インカのめざめの試食も用意し、おいしさを伝える事ができたと思います。その中でもインカのめざめは、お客様の認知度が高く、お買い求めになる方が沢山いらっしゃいました。今回のフェアは強風や雨にも関わらず、沢山のお客様に来て頂く事ができ、「前もやってたよね」などと声を掛けてくださる方も多くいらっしゃいました。

㈱ワタリ様・㈱ワタリ青果様は、根張星をはじめとする池田町の農産物のPRにとっても力を入れてくださっています。店頭には、㈱ワタリ様・㈱ワタリ青果様が作ってくださった、私達と生産者の写真がポップとして飾られており、顔が見えることで安全や安心を伝えています。また、試食に関しても「どう食べたらおいしさがより伝わるのか」、「玉ねぎがメインになるような調理法はないのか」などいろいろなアイディアを出して、調理法を考えてくださりました。㈱ワタリ様・㈱ワタリ青果様の熱意はすごく、まるで自分たちも池田町の農産物を作っているかのように情熱を持って売っていただいております。店頭販売中はお客様に積極的に声かけを行い、いかにおいしいのか、という事を伝えてくださりました。

普段はなかなか消費者の方々や、取引先の業者の方々とお話するという機会がありませんが、㈱ワタリ様・㈱ワタリ青果様や京王ストアの方々にご温かく迎えていただき、また、このフェアを通して、消費者の声を直に聞き、顔も見るという経験が出来ました。消費者の方々の「おいしい」という声を聞いたり顔を見ると、とても嬉しくなり、池田町でこのような農産物が作られている事を誇らしく思います。

今後も生産者・職員とともに、池田町の農産物の魅力をたくさんの方に伝えていきたいです。

(記事・金融共済課 野々村麻希、管理課 斉藤しいな)



店頭の様子



店頭PRをした
左から野々村職員・斉藤職員

施設課



施設課 (農産センター) に「AED」設置

施設課においては小麦受入から組合員の出入も多くなりアルバイトや後継者の方々や、更には農産物の搬入後については選別パート職が業務に従事することになり常時50名以上の従業員がおります。

構内での作業中に職員や従業員及び来場者が体調不良になった時の対処方として救命救急講習会には参加しております。健康が第一でありますが、従業員や来場者に万が一の事が発生した場合でも「AED」がある事で命を救える事が出来ます。従業員が安心して働ける職場を作っていきたいと思っております。今後も職員全員が救命救急の基礎知識や技術を身につけて行くように致します。

(記事・農産部施設課次長 山内 守)

女性部

トイレットロール寄贈

女性部では3月18日に特別養護老人ホーム池田光寿苑へトイレットロールの寄贈を行いました。この寄贈はJA十勝女性協の事業の一環で、回収した紙パックを紙業メーカーへ売却し、その益金によりトイレットロールを購入しています。当日は当農協女性部長の中西邦江さんと、高島農協女性部長の萬貴美恵さんと伺い寄贈してきました。

女性部では、今年度もこの事業を続けていきますので、紙パックの回収にご協力をお願い致します。

(記事・営農部営農課 遠藤由梨)



左から大熊理事長、萬部長、中西部長



定期総会の様子

青年部

十勝地区青年部協議会 第64回総会

3月19日に部長・前部長・副部長2名・書記長の計5名で、十勝地区青年部協議会定期総会、および学習会に参加してきました。

初めに、芽室青年会議所専務理事である村上愛氏による学習会が行われ、演題は「私の考えるリーダーの役割」でした。周りのメンバーのモチベーションを高く維持させる難しさなど、自身が苦労されてきた事などを講演して頂きました。その後定期総会へ移行し、滞りなく議案は成立されました。新会長には陸別町の伊藤耕大さんとなり銀河線ブロックの盟友達で盛り上げていこうと話もしてきました。

最後になりますが、地区青協の副会長を務められてきた原口直之さん、本当にご苦労様でした。青年部一同感謝しております。

(記事・青年部書記長 市川 豊)

農 産 部

株式会社 虎屋 来所

～福白金時契約栽培研修会及び交流会を開催～



3月17日、福白金時契約栽培の取引先である株式会社虎屋が来所され、研修会及び交流会を開催致しました。

この交流会は福白金時契約栽培が始まった平成20年から産地と消費地が相互に交流を深めることを目的に毎年開催しており、今回で第7回を迎えました。昨年までは福白金時生産者を対象に行っていましたが、基幹作物である豆類の実需者が来所される貴重な機会でありますので、今回は作付の有無を問わず開催をご案内させて頂きました。

研修会では継続した課題となっている福白金時の生産性向上に向けて、平成25年度に実施した試験、調査結果を報告し、株式会社虎屋からは資材部星野課長より虎屋製品における小豆、福白金時の重要性を中心に豆類の評価、求められる品質などについて講演頂きました。株式会社虎屋では近年十勝管内で作付の増えている小豆「きたろまん」よりも「エリモショウズ」の方が良い風味であると評価しており、当JA産の平成25年産福白金時は加工適正が前年産よりも良いとのことでした。また、安定した需給状況を確認するため、相互に連携を深めて取組んでいくことが重要となることが確認されました。

当日はビートの育苗作業など多忙な時期にも関わらず、過去最大となる20名の生産者の方にご出席頂くことができました。誠にありがとうございました。（記事・農産部農産課 岡本富之）

事業評価制度について説明する藤田常務



管 理 課

“活力ある職場づくり”
実践事例を報告
～根釧管内JAが視察に訪れる～

3月3日（月）に、根室管内の常務参事会視察団が、当JAを訪れました。

視察目的は、当JAが実施している「事

業評価制度（農協の通信簿）」及び「5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰の5つのS）」の実践例について視察したいとのことでした。

事業評価制度については藤田常務が、5S活動については、私が報告させて頂きました。事業評価制度については、道内で実施しているJAは2JAで、その内の1JAは根釧地区でも先行実施されており、実施状況や課題について意見を交わす場面もありました。

また、5S活動については、情報セキュリティの面でも、書類廃棄については共通の課題となっており、廃棄方法や処理料金の質問など具体的な質疑も交わされました。

今回の視察については、協同組合と言う組織で共に働く者同士との交流や、問題意識を共有する貴重な機会ともなりました。

今後は、全道のJAとも手を携え、意見交換や連携を図りつつ、共に“活力ある職場づくり”に取り組んで参りたいと考えております。

（記事・管理部長 大塚 節）

管 理 課

東部十勝JA職員交流会!

3月15日、帯広東急インにおいて第2回東部十勝JA職員交流会が開催されました。この交流会は、他JA・他部署の人と交流を深めることを目的としており、今年はJA十勝高島様が、当番JAとして企画から運営まで行っていました。

当日は8JAから90名以上が参加し、当JAからは17名の職員が参加しました。会食や各JAの特産品が景品として当たる『テーブル対抗ゲーム』で大変盛り上がり、参加した職員は「普段、他JAの職員と関わる機会が少ないため、職員交流会は大変有意義な時間だった。来年も開催するのであれば、ぜひ参加したい」と話しておりました。

(記事・管理部管理課 荻 悠哉)



楽しく交流!

選別の様子



施 設 課

25年産玉葱選別終了!

お預かりしていた玉葱の選別作業が3月17日をもって終了いたしました。

昨年と比べると在庫量も約350t多く厳しい選果になりましたが生産者の皆様、又選別に携わるパート職の皆様の協力の下ほぼ昨年同様に終了できました。

25年産の作柄はやや小ぶりではありましたが良質の品物を実需先に納品することが出来ました。価格の動向も良く注文に選別を間に合わせるのに苦労いたしましたが無事選果を終了でき安心しています。

今後、選果機の改良、修繕を施し今年の選果へと向かいます。(記事・農産部施設課 本郷浩二)

藤田常務が
農協功労者表彰を受賞

当農協の藤田千景常務理事が北海道農業協同組合中央会第60回通常総会の席上において、平成25年度北海道農業協同組合功労者表彰を受賞しました。

藤田常務は小豆氷温ストレージの発案・建設による産地の地位向上、人事考課制度と目標管理制度及び面接制度を含む新人事管理制度の導入による職員の育成、および事業評価制度(農協の通信簿)の導入による組合員の事業参画意識の向上に繋げている事が評価されました。

(記事・営農部長 川村雅貴)



表彰の様子

特集 報徳研修会 ～その1～

「二宮尊徳にみる協同実践と豊かな『ひとづくり』」

講師 親子をつなぐ学びのスペースリレート代表 中 桐 万里子

2月24日に開催した報徳研修会の様子を今月号から3回に分け掲載いたします。講師の中桐万里子氏には二宮尊徳（金次郎）という人物をめぐって、「協同」と「ひとづくり」に焦点をあててお話をさせていただきました。

幸せは

広げられるもの

「ひとづくり」といって、どうしても私たちは「世のため、人のため」というイメージを思い描くかもしれません。幸せということを考えてときに私たちはつい奪い合うもの、あるいはどちらかが犠牲を払ってどちらかが手に入れるものという競争のようなイメージがあります。

はバスが電車を利用してました。鞆の中に鉛やチョコレートを一杯詰め込んで出かけます。バス・電車に乗ると男女を捜して話しかけました。仲良くなると鉛やチョコレートを渡していただきました。更に話が進み、よりに入った人には手作りのティッシュケースを渡していました。私がいくら注意しても死ぬまで止めませんでした。今思えば、私の祖母の行動は、まさに幸せは広げられるもの、奪い合

うものではないことを教えてくれたと思います。皆様は金次郎が子供の頃、夜なべをしてわらじを作って配って歩いたという話をどこかで聞いたことがあるかもしれません。あれは、美徳とか自己犠牲ではなく、私の祖母がしていたことと同じだったと常々思っていました。もらった人が喜んでかどうかわかりませんが、金次郎にとっても祖母にとっても配って歩くことが楽しかったのだと思います。「協同」という言葉も世のため、人のためというイメージがあつて、どこか自分が我慢しなければならぬ、犠牲を払わなければならないと考えがちですが、

金次郎が考えていた「協同」とは自分も豊かになり、相手も豊かになるという関係をどうやって作り出せるかということでした。金次郎とは幼少の頃の名前で、56歳のときに尊徳と名を変えました。薪を背負って本を読んでいるあの像は皆様にお馴染みです。勤勉というイメージがあります。私は家族からあの像について別な意味を聞かされていました。

と大切なのは一歩踏み出している足であると繰り返し聞かされてきました。本を読み勉強することも大事、理想を持つことも大事。しかし、どんなときでも働くことを忘れてはいけない。一歩前に踏み出すことを止めてはならないとのメッセージであると教えられました。金次郎は実践と行動にこだわる人生だった。特に金次郎がこだわった実践は「農業」であり、農業者として人生を費やしました。しかし、金次郎の時代の農業は異常気象や自然災害が続いた時代でしたが、彼は大変な災害で荒れた農村を600以上再建させました。もちろん一人ではできませんので、金次郎にとって協同の実践がなにより重要なことでした。

①春なのに秋なすの味

田植えが終わった頃、金次郎は農民を集めて「植えた苗を今すぐ抜いて欲しい」

実践と

行動の人生

講演の様子



と言いました。「数日前に食べたなすの漬け物が秋なすの味がした」というのがその理由です。季節はこれから夏が来るという時期に

もかわならず、なすが「今は秋になっている」と告げており、「これから夏がやってくる」と考えました。米をあきらめて、寒さに強い

「ひえ・あわ・大根」に植え替える提案するのです。米と雑穀では収入が比べものにならないので、誰も相手にしなかった。しかし最終的にこの村は植え替えをしました。この年から天保の大飢饉が始まり、米がまったく実らず、100万人以上の餓死者が出たが、金次郎の村からは一人の餓死者も出ず、近隣の村も助けることができず、誰もが行動出来るように教え、さらに村の人々が一緒に行動できたからです。つまり「協同」で乗り切ることができたのです。

②金次郎流の

協同のかたち

(水車と川の関係)

「何か行動するときには水車みたいに動いたらいいい」水車と川は全く逆ではあるが、この2つは共存共栄しエネルギーを生み出す。「自分を水車と思い、向き合ってゆく現実を川だと思

いなさい」最初にするものは何か。それは川に飛び込むこと。それで水車は回転を始める。しかし、飛び込んで沈んでしまつては何もならない。必ず川から浮き上がってくるのが大事。水車は逆向きの動きをしている。(困難に立ち向かう)川とは真逆の動きをする必要がある。(半分従い、半分は逆らう)理想的な共存・共栄は「相手に半分従い、半分は逆らう」というバランスが必要。これがお互いにメリットを生んでくる。

「従う」とは、相手に飲み込まれること又は相手の言うことを聞くということではなく、「相手を知ること」である。まずは現実を受け容れて、「知る」・「よく見る」・「受け容れる」ということ。

「逆らう」とは、相手と闘う事や勝ち抜き事ではなく「相手を受け容れたことで対策を練る」とこと「工

夫をすること」(知恵・技術)が大切。金次郎は「工夫」という言葉が大好きだった。どんなことでも工夫をすることが実りにつながる。「工夫」も頭のなかにあるだけでは現実的に実らすことは出来ない。必ず「声に出すこと」、「実行に移すこと」で形にすることが重要。川に飛び込まない水車は絶対に回らない。これが金次郎の考えた「協同」です。

【来月号に続く】

講師略歴

二宮金次郎より7代目子孫。慶應義塾大学環境情報学部を卒業。その後、京都大学大学院に進学し、臨床教育学を専攻、京都大学博士号を取得し、卒業後は、京都大学での研究員として勤務。現在は、親子をつなぐ学びのスペースリレート代表、関西学院大学講師、国際二宮尊徳思想学会常務理事をつとめる。

活力ある職場づくりを目指して

～平成25年度5S活動報告～



5S委員

5S活動については、平成23年9月から活動を開始し、3年目を迎え、平成25年度5月からは、5S活動の趣旨や活動内容をより多くの職員に理解してもらうため、5S委員を全て刷新。各課から1名選出し、現在は10名の新メンバーで活動を行っています。

新メンバーでの活動開始時には、戸惑うことばかりでしたが、とりあえずやってみようとして活動開始。今では、新しい発想も取り入れながら、自信を持って取り組むことができるようになったと思っています。その

ような中、平成25年度は基本的なグループ活動は変わりませんが、新たな取り組み方法や、ユニークなチャレンジも生まれましたので、今回、ご報告致したいと思います。

1. 自主点検グループ【梶木和也（畜産課）・遠近恵子（金融共済課）】

- 事務所及び各事業所を月1回巡回する。
- 点検者 → 責任者（部長／次長／室長）・リーダー（課長）・5S委員
- 点検場所 → 本所・支所・資材・店舗・スタンド・農産センター（H22・14工場）（施設事務所・ナガイモ選果場）（H52・56工場・休憩所）（馬鈴薯・玉ねぎ選果場）

以上8カ所の事業所及び現場の点検を行う。

●点検の流れ

- ステップ① 点検者へメールで点検期日を案内。
- ステップ② 輪番表により決められた場所の点検を期日内に行う。
- ステップ③ 事務所用と施設用の点検表で確認しながら行う。
- ステップ④ 結果は5S会議にて自主点検グループより報告される。



自主点検の様子

- 点検時間 → 業務内に点検を行う。
- 点検評価 → 「○」・「×」評価、業務時間内も考慮し、担当者に相談しながら判断することも。「×」の場合、写真を撮りコメントと共に改善報告書に添付し提出。

内容は、各部署の5S委員の元へ、改善後の写真及び今後の対応策を記載し報告書を完成させる。

- 優良事例 → 点検評価のみならず、素晴らしい取組であったり、小さい工夫でも目に留まれば報告してもらう。
- 自主点検作業を通じて、整理整頓・美化の意識はもちろんですが、コミュニケーションの場としての役割も大きな目的と考えています。自らが動き、お互い声をかけ合える環境にし、最終的には点検をやらなくても良い職場を目指します。

2. ファイリングシステムグループ【加藤博美（給油課）・佐藤尚弘（施設課）・遠藤由梨（営農課）】

●ファイリングシステムとは？

誰でも文章の所在や仕事内容が分かるように、各部署のファイル（書類綴り）を整理・整頓や効率的にファイルの保管・廃棄をするための仕組みです。

●目的

- ◆ファイルの作成基準を統一 → 誰でも簡単に検索・収納
- ◆保管・保存・廃棄を表示 → 書庫の滞留を防ぐ
- ◆毎年ファイルを購入しない → コスト削減
- ◆同一書類保存の無駄を無くす → スペース確保

- H24年度から、試験的に農産部・給油課で開始しH25年度は、全部署での取り組みとなっております。H25年度は、新たにファイルの厚さを統一し、収納の見栄えを良くしました。
- ファイリングの要となるのが、背表紙です。全部署統一様式とし、部署名・キャビネットの場所・年度・ファイル名・書類の保存期間・廃棄年数（西暦で）を表示することにより、「どこにファイルがあるか?」「いつ廃棄するか?」などが明確にされ、業務・書類整理の効率化を図ります。

3. くふうシートグループ【小枝政和（金融部池田支所）・鈴木耕一郎（農産課）・岩城 諒（生活課）】

- 「くふうシート」グループでは昨年同様に職員から改善アイデアを募りそのアイデアを全職員が共有することで職場環境の改善を進める活動を行っていますが、昨年と違うところは改善アイデアの実践に、より重点を置いている点です。
- 職員から寄せられた改善アイデアを毎月回覧して、各部署がそのアイデアを実践することで職場環境はどんどん良くなっています。
- 下記2点は他部署でも多く実践されているアイデアですが、これらの他にもたくさんの改善アイデアの応募がありました。



「ボードに外出先を書いています」（7月農産課作品）



「鍵を分かりやすく!」（7月管理課作品）

改善アイデアは皆で実践してこそ、意味がある!

今年度はアイデアの応募と実践の双方にてポイントを付与して、取組活動の優秀な部署をキックオフ大会にて表彰致します。

4. 環境グループ【鈴木則宏（生産資材課）・荻 悠哉（管理課）】

- 定期清掃（4月10日、7月27日、11月18日実施）
年3回実施していますこの清掃も、当初2時間程度かかっていた時間も1時間半に短縮されてきています。今後は、清掃当日の人員の配置と作業の進み具合による臨機応変な対応で作業時間の短縮を目指します。
- 暑熱対策
計画当初は、本所南側金融窓口前にキュウリを使ったグリーンカーテン設置を計画するも、外壁改修工事のため設置場所を屋上に変更して栽培を行いました。お店に並ぶようなキュウリはできませんでしたが、女性部部長や皆様のお力を借りて収穫することができ美味しくいただきました。
- 書類廃棄（10月23日実施）
書類廃棄作業については、事前に金具とファイルの分別を各部に依頼、今年は2.5トンの書類廃棄を行うことができました。次年度につきましても引き続き保管年限を越えた書類の廃棄を続けていきます。



定期清掃の様子

～ む す び ～

今後とも、5S活動を通じて、様々な課題や問題が発生すると思いますが、その度に解決し乗り越えられる職員づくり“活力ある職場づくり”となるよう継続して取り組んで参ります。

金融共済課より

5月2日受付締切

JAの傷害共済

日常生活や農作業において、どんなに気をつけていても突然身にふりかかる災害や事故は防ぎようがありません。そんなもしもの場合に備え、JAの「傷害共済」をおすすめいたします。さまざまなアクシデントに対応し、あなたの暮らしを頼もしくバックアップします。

ご契約例（0～69歳加入）掛金20,350円 共済期間1年間
普通傷害死亡共済金額1,000万円、部位・症状別治療金額5,000円

万一死亡の場合 **1,000万円**

（災害を受けた日から200日以内にその災害により死亡したとき）

後遺障害の場合 **1,000万円～50万円**

（災害を受けた日から200日以内にその災害により後遺障害になったとき、その程度によりお支払します）

重度後遺障害費用共済金

（A級後遺障害）

（B級後遺障害）

200万円

100万円

（災害から200日以内に、別に定める重度障害の状態になったとき、その程度によりお支払します。またこの共済金は「災害給付特約」にはついておりません）

さらに

災害にあわれた日以後その災害により200日以内に入院されたとき、または入院されなかった場合で5日以上の通院をされたとき

部位・症状に応じての場合 **2.5～60万円**（部位・症状別治療共済金額×5倍～120倍）

例 頭を打撲したとき（部位：頭部、症状：打撲）…… **5倍 2.5万円**

例 腕を骨折したとき（部位：上肢、症状：骨折）…… **35倍 17.5万円**

※いずれも、約款上の支払事由を満たした場合に限り、共済金をお支払いします。

災害にあわれた日以後その災害により200日以内に入院されなかった場合で5日未満の通院をされ、治療が完了したとき **1万円**（部位・症状別治療共済金額×2倍）

掛金例

1級・0～69歳の場合	掛金	20,350円
死亡・後遺障害	1,000万円	部位・症状別治療共済金額 5,000円
1級・70～80歳の場合	掛金	9,230円
死亡・後遺障害	500万円	部位・症状別治療共済金額 2,000円
1級・81～99歳の場合	掛金	10,300円
死亡・後遺障害	50万円	部位・症状別治療共済金額 2,000円

お問合せは JA十勝池田町

本所金融共済課 572-3131

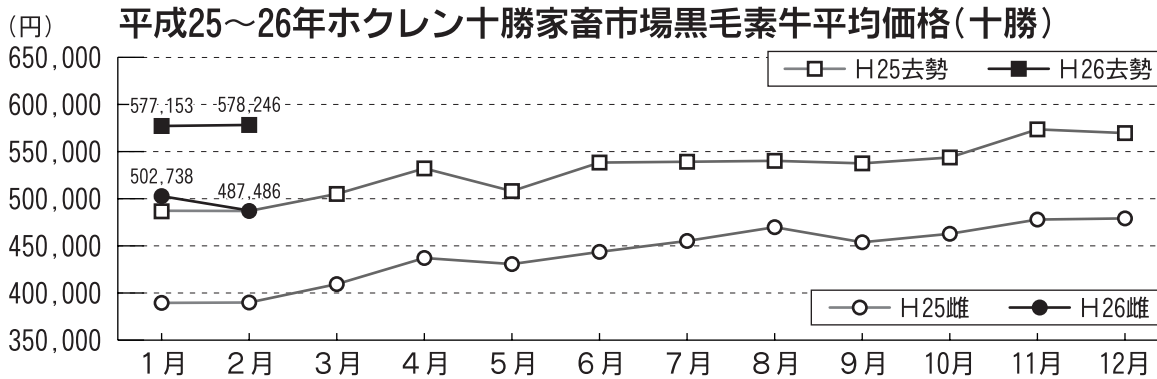
池田支所 572-3132

- ご契約にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。
- 上記の掛金は家族割付（50～99人）での契約者1人あたりの掛金例です。上記の掛金は平成26年3月31日まで有効です。
- 職業・年齢・スポーツの種類などにより、加入の制限及びお引き受けできないこともあります。

14013746003

畜産部通信

畜産部
畜産課



2月黒毛素牛出荷区分別成績

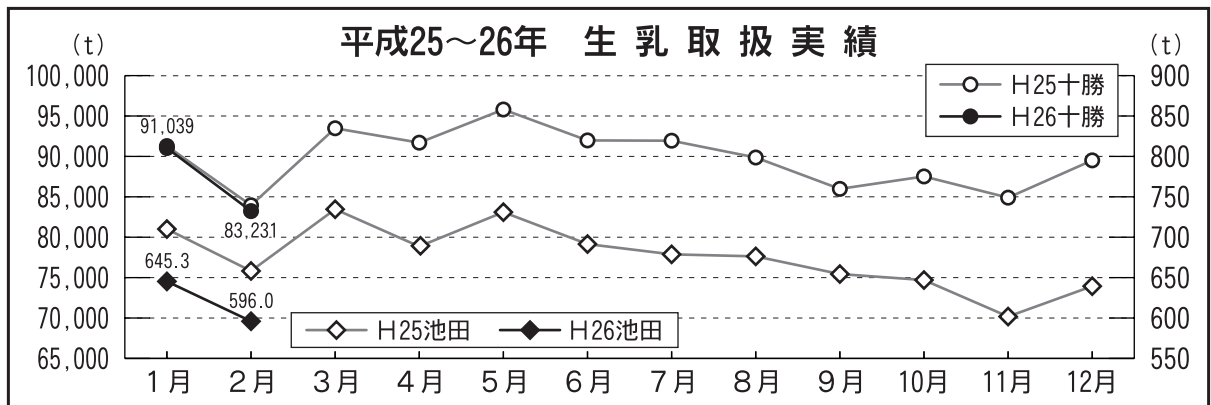
【金額(円)】

去勢	区分	取引頭数	平均価格(税込)		参加率・認定率
			金額	単頭	
十勝	和牛素牛	608	578,246		
	マニュアル参加牛	391	583,373	64.3	
	マニュアル認定牛	92	630,205	15.1	
池田	和牛素牛	59	584,369		
	マニュアル参加牛	48	578,288	81.4	
	マニュアル認定牛	12	616,088	20.3	
雌	十勝	和牛素牛	492	487,486	
		マニュアル参加牛	318	489,881	64.6
		マニュアル認定牛	33	521,659	6.7
池田	和牛素牛	34	498,565		
	マニュアル参加牛	30	500,885	88.2	
	マニュアル認定牛	4	515,550	11.8	

2月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
8日	黒毛去勢	A-5	1,966
		A-4	1,796
		A-3	1,640
	黒毛メス	A-5	2,111
		A-4	1,839
		A-3	1,636
	F1去勢	B-3	1,262
		B-2	1,049
	F1メス	B-3	1,156
B-2		995	



2月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
3日	乳牛育成	417	311,105
5日	乳牛初妊	421	575,787
	乳牛経産	34	385,474
19日	乳牛初妊	575	586,435
	乳牛経産	75	349,300

2月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	53,605
F1オス初生	188,321
F1メス初生	127,536
廃用牛	162,934

理事会の動き

第1回

〈平成26年3月26日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入・脱退について
- (2) 余裕金運用状況報告書並びに保有目的区分について
- (3) 共計品の精算について
- (4) 内部審査及び内部監査報告について

★ 議案 ★

- (1) 平成26年度役員報酬額の答申について
- (2) 定款の変更について
- (3) 資産自己査定の結果について
- (4) 決算監査結果の報告について
- (5) 第25回通常総会の招集及び付議すべき議案並びに総会参考資料について
- (6) 第25回通常総会の議決権行使書面の取扱いについて
- (7) 決算書類（平成25年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表）及び部門別損益計算書の承認について
- (8) 農畜産物高品質多収穫共励会表彰及び職員永年勤続表彰について
- (9) 道常例検査指摘事項に対する改善状況等の報告について
- (10) 地区懇談会の開催について
- (11) 北海道農業公社優良肉用牛貸付事業の実施と転貸について
- (12) 特定組合員の営農計画書及び組助限度の設定について

★ 協議案 ★

- (1) 2JA合併に関する懇談会資料について

今月の1枚



女性部通常総会

今月の1枚は、3月4日（火）に開催されました、女性部通常総会での新役員・新支部長さん達の写真です。

総会は全議案について原案通り可決され、総会終了後には懇親会が開催され、部員の皆さんは交流を深めてらっしゃいました。

女性部では新入部員の募集をしています。皆さんの入部をお待ちしております！

3月31日で当JAを退職させて頂きました編集長の武田です。広報を担当し、1年間という短い時間ではありましたが昨年の広報はいかがだったでしょうか？
至らない点もあつたかとは思いますが、次の担当者は更にユニークな広報を提供してくださると思いますので、これからも当JA広報をよろしくお願いします。

（武田）

